

「三里塚を叩く労働運動」 水勝利の展望きり拓く



第一日目午後 活発な討論を展開

大会第一日目 総括討論

代議員からは次の意見・質疑が出された。

◎新藤代議員（幕張支部）

「青年部は、10.10三里塚現地集会に、325労働員を教訓化し、これを上回る7割労働員を実現する」

◎白井代議員（幕張支部）

「当局の過員攻撃と現場で激しく格闘してきた。『民託化』された作業分についても今後見直させていく事も必要。鉄産労についての労働千葉としての見解はどうなのか」

◎石幡代議員（幕張支部）

「通勤対策で駅への通勤に行ってみて、改めて労働千葉の路線と組織の強さを再認識した。10.10の最先頭で叩く」

◎清水代議員（事務分科）

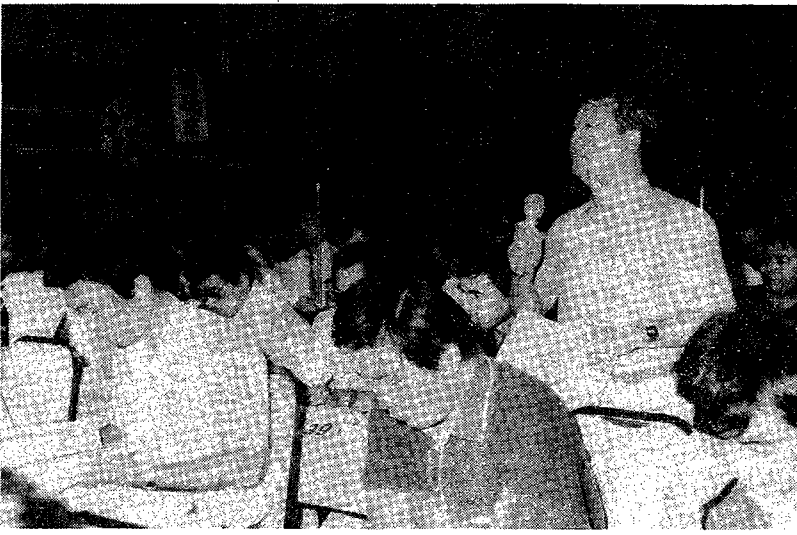
「要員センター攻撃を粉碎した労働千葉の団結力こそ、この一年間の闘いの勝利にある。この力で10.10をやりぬこう」

◎吉岡代議員（津田沼支部）

「当局の国鉄労働運動破壊攻撃と呼応する労働『本部』革マルの追放・一掃こそ勝利の道だ。『三里塚・国鉄を基軸に中曽根と対決する労働運動』路線のもと労働者の怒りを結集して叩こう」

◎滝口代議員（幕張支部）

「いよいよ労働千葉が全国の労働者の先頭で反撃への突破口をひらく時がきた。」



「正しい路線」と「原則の死守」で前進した一年

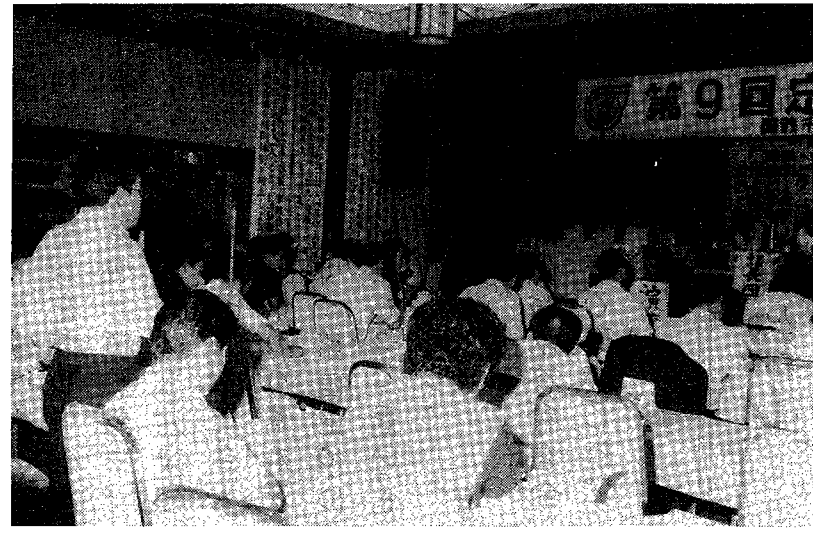
布施書記長から本部答弁

これに対して、布施書記長から「本部答弁」が行われた。

(1) 原則死守の上で大胆に発想——「過員」攻撃の叩き

●「過員」攻撃の一つ一つ

迫いつめられて叩くのではなく、この叩きは本質的に攻勢をとり、決戦にうつて出る時にはすでに勝利のポイントを握っているという闘いを準備しなければならぬ。今秋の三里塚・国鉄決戦の結合はそれを可能とする」



現実具体的に对决していくに当っては、死守すべき原則の線をはっきりさせた上で大胆に発想し叩いていく。

（裏へ続く）

この間の闘いの正しさに
ついて各代議員の発言の中
からもつかみとれる。

(2) 逃亡路線の、鉄産労、 其間の対象にならず

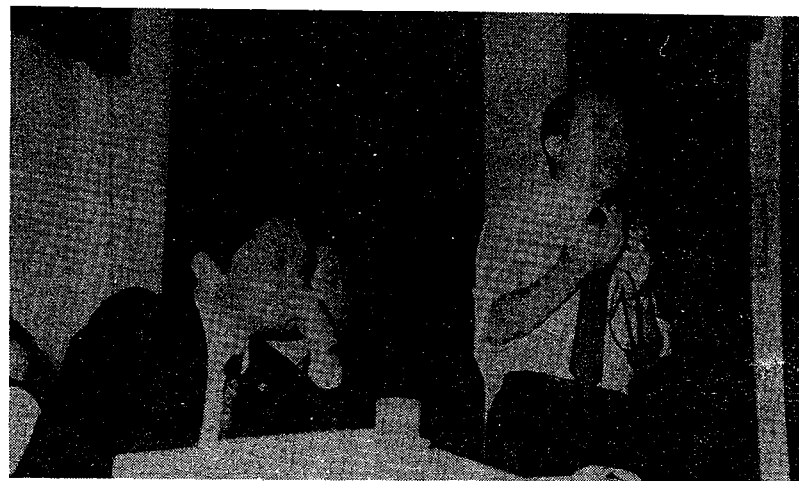
●「鉄産労」は、動労本部
革マルの路線との対決から
逃亡している点や革マル反
動分子と闘って動労大改革
をやりぬく路線・気概を放
棄している点、脱落派と組
んで敷地内を先頭とした三
里塚反対同盟の闘いに敵対
している以上、『共闘』とい
う立場にはない。

(3) 再建フォーラムの動労本部、 粉砕・一掃あるのみ

●動労本部「革マル」の最近
の動向について——再建
フォーラム「運動に象徴され
る完全な労資一体化」経営
参加運動へののめり込みは
全合理化事実を当局になり
かわって提案し推進する組
合への変身であり、同時に
国労・動労千葉破壊を当局
とつるんで画策・実行する
ファミスト組合への純化であ
ることに最大の警戒をしな
ければならない。全反動分
子の追放・一掃を更に強力
に推進しよう。

(4) 「三里塚・国鉄」で中曽根の 弱点を攻めおとすこと

●「一九八七年、民営・分割化」と
いう政府・国鉄当局の攻撃
と全面対決する路線と態勢
をうち固めよう。この凶暴
・強引な攻撃は、中曽根体
制の危機と余裕のなさの表



本部答弁に立つ布施書記長。

明でもある。中曽根体制の
弱点をしっかりとつかみと
って打倒していくチャンス
として「三里塚・国鉄」を結
合した政治闘争として攻撃
的に闘っていく。

「闘いの経過」を圧倒的に確認し、

(9/2 17:50) 大会第一日目の議事を終了

動労千葉顧問弁護団を代表
しての葉山宏夫弁護士のおい
さつをうけたのち、議事は
「大会延期承認」「一九八三年
度一般経過報告・労働協約協
定締結報告・会計報告・同監
直報告」の全てをそれぞれ満
場の拍手で承認した。

ただちに、「一九八四年度運
動方針案」が布施書記長より、

(5) 不屈に闘い、前進した一年。
「1010」に思いきり決起しよう。
●この一年間の厳しい諸攻
撃の中にあっても、われわれ
動労千葉二三〇〇は、原則を
堅持して闘ったが故に組織
的前進をかちとることがで
きた。「過員」攻撃の中で
もわれわれの原点・原則を
貫き、団結と信頼を固めて
きた。「三里塚を闘う労働運
動」の不屈性・勝利性だ。
レーガン闘争、3.25決起
をはじめとする政治闘争で
つちかわれた更力の勝利を
教訓化し、「二期阻止1010
三里塚」に確信も、て思いき
り総決起していく。

以上の四点の総括答弁を全
員の圧倒的拍手で確認した。

「共済制度検討委員会答申」
が山岸同委員長から、「組織
財政検討委員会答申」が松崎
同委員長から、「一九八四年度
予算案」が水野副委員長から
各々提案され、十七時五〇分、
大会第一日目の全ての議事を
終了した。

(以下、第二日目報告は
次号につづく)